

科目名称：	アウトドア演習	
担当者名：	新井浩、大谷友理、大場新之助	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>今日では、アートやデザインにも社会的な課題にどう向き合うか、といった意識が求められている。中でもSDGsに代表されるような環境・自然・健康といった観点を持つことは作品制作においても重要である。白山手取川ジオパークというロケーションを生かし、大自然の中での非日常的な体験を通して、アウトドア活動に親しむための基礎的知識・技能の習得するとともに、美術的視点を広げることを目的とする。不便な生活でも工夫して生きるという体験は、いざという時の防災意識にも繋がると考えられる。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>下記のオリエンテーション・登山の注意・振り返り以外はすべて学外で行う集中授業となる。5月の週末に白山市鶴来での野外炊飯・白山手取キャニオンロードサイクリング、8月の夏季休暇中に白山登山を実施する。屋内の個別制作が多い美術学科であるが、この演習を通し同級生とコミュニケーションをとり、自然に親しみ、身体的な感性を意識することを目標とする。登山や長距離サイクリングを体験することで、目的を達成する充実感を得てほしい。</p>		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	○
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)					0
美術DP(3)			50	50	100
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	外部講師 宮下由美子：白山ガイド	15年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
授業内容・意義の理解（自然・環境・健康と美術）	自然・環境・健康といったテーマと美術的視点について考えが広がる。日常的に実践できる。	能動的に実習に取り組み、自然を楽しむことができる。日常的な意識が芽生える。	能動的に実習に取り組み、自然を楽しむことができる。	受動的な態度であり、取り組みへの関心が低い。
火おこしのスキルと野外炊飯	3種類の方法で火おこしができ、鉄板での調理ができる。	2種類の方法で火おこしができ、鉄板での調理ができる。	1種類の方法で火おこしができ、鉄板での調理ができる。	火おこしはできない
サイクリングのマナー	ヘルメットをかぶり、キープレフト、歩道・車道の走り方、並進禁止、ヘルメットのうち3つができています。	キープレフト、歩道・車道の走り方、並進禁止、ヘルメットのうち3つができています。	キープレフト、歩道・車道の走り方、並進禁止、ヘルメットのうち2つができています。	キープレフト、歩道・車道の走り方、並進禁止、ヘルメットのうち1つしかできていない。
登山のマナー	帽子をかぶり、他の登山客に気を配り、登り優先、集団行動、帽子着用のうち3つができています。	他の登山客への気を配り、登り優先、集団行動、帽子着用のうち3つができています。	他の登山客への気を配り、登り優先、集団行動、帽子着用のうち2つができています。	他の登山客への気を配り、登り優先、集団行動、帽子着用のうち1つができています。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 オリエンテーション	このシラバスを精読しておく。	20分
第2回 アウトドア体験（グループワークでそれぞれの方法で火おこしを実施、違いを共有する）	オリエンテーションで学修した、火おこしの方法を復習しまとめておく。	30分
第3回 アウトドア体験（野外炊飯）	野外炊飯の方法を復習してまとめておく。	15分
第4回 サイクリング（白山青年の家～綿ヶ滝）	サイクリングの注意点を復習しておく。手取キャニオンロードについて事前に調べておく。	30分
第5回 サイクリング（綿ヶ滝～瀬女）	瀬女高原について事前に調べてまとめておく。	15分
第6回 サイクリング（瀬女～綿ヶ滝）	綿ヶ滝とジオパークについて事前に調べてまとめておく。	30分
第7回 サイクリング（綿ヶ滝～白山青年の家）	鳥越の歴史について調べてまとめておく。	30分
第8回 事前研修「登山の注意」	事前配付する、登山の注意点プリントを精読し、要点をまとめておく。	30分
第9回 白山登山（別当出合～甚乃助避難小屋）	「登山の注意」を復習し、まとめておく。	40分
第10回 白山登山（甚乃助避難小屋～室堂ビジターセンター）	白山の植物について復習し、まとめておく。	30分
第11回 白山登山（室堂ビジターセンター泊）	白山登山の歴史を復習しまとめておく。	30分
第12回 白山登山（山頂）	白山信仰について復習しまとめておく。	30分
第13回 白山登山（室堂ビジターセンター～甚乃助避難小屋）	下山についての注意点を復習しまとめておく。	15分
第14回 白山登山（甚乃助避難小屋～別当出合）	白山砂防について復習しまとめておく。	15分
第15回 事後研修「振り返り」	これまでのアウトドア体験について小テストを実施するためすべての復習をしてまとめておく。	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
各アウトドア体験の活動状況を50%、提出課題(レポート)を50%として評価する。

課題に対するフィードバック

振り返りシートにコメントをつけて返却する。

教科書・参考書

教科書は指定しない。各回プリント・課題を配付。